

札幌社保協 FAXニュース

2017年 7月14日(金)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
7月27日(木)です

札幌社保協
2017年総会

憲法改悪、社会保障解体を許さず、 要求と改善運動の強化を！

札幌社保協2017年度の第20回総会が、7/8の
午後札幌市内白石区で開催され、加入団体から
40人が参加しました。

第1部の学習講演では、「診察室から見える子ども
の現状～子どもの貧困と健康」と題して、勤医協
菊水子ども診療所の岡田 靖所長が講演しました。
世帯収入によって小中学生の健康と生活実態に差が
出る、低所得層で女兒の出生体重が低い、入院助産
制度利用の社会的背景など、初めて聞く人は驚く内
容が多く、とりわけ16歳以下の出産事例では貧困
が色濃く反映している実態に、衝撃を受ける参加者も
多くいました。

【報告と提案】

事務局の報告では、2016年度の国保料引き下げ運動が多くの団体の力で36000を超える署名を集めて陳
情を行い、高すぎる国保料が市民はもちろん、行政・議会でも共通認識になったことが強調されました。また
多くの区社協が中心となったSOS相談会の開催も特徴でした。2017年度の方針では、①憲法改悪反対、
②25条を活かす活動、③最賃の確立、公契約条例制定、④生活保護、年金改悪反対、裁判の支援、⑤国保料の
引き下げ、改善、⑥医療改悪実施中止、⑦介護改悪反対、総合事業の改善、⑧保育と労働者の処遇改善、⑨生
活困窮者支援と相談活動、⑩子ども医療費無料化拡大、⑪社保協の強化などが提案され、署名としては「無料
低額診療の薬代助成を求める署名」を、全団体に集めようと提起されました。

【各団体などからの発言】

●小形・平岡市議～国保料引き下げ、子ども医療費助成、保育料軽減、子どもの貧困調査などについての秋元
市長の姿勢について報告。●新婦人札幌協議会～国保料引き下げ署名の取り組み、就学援助制度を知らせる運
動と3月支給実現を市へ要請、子ども医療費助成拡大、医療や介護カフェの開催などを報告。●保健企画～無
料低額診療への薬代助成を求める署名の取り組み、無料低額診療を利用されている方の訪問活動と実態の紹
介。●保育労組～専門職である保育士の処遇改善が急務、一方で国の処遇改善のやり方は保育士の間に差をつ
けて分断するようなやり方をしていると報告。●年金者組合～最低保障年金の実現と年金支給月の宣伝行動、
年金の減額に対する裁判闘争への支援について報告。●勤医協在宅グループ～市で始まった介護総合事業の実
態、保険者機能強化で介護を利用せない方向へ進めていく改悪を報告。

方針案、決算、予算案は全体で確認され、役員は以下の方が選任されました（敬称略）。

代表委員：高崎裕子（弁護士）、堀毛清史（勤医協理事長）、佐藤宏和（道生連事務局長）、（地区労連の代
表委員は定期大会で確認）。事務局長：斉藤浩司（勤医協）、事務局次長：木幡秀夫（勤医協在宅グループ）



SOSネット西区相談会



6/23、SOSネット西区の今年度1回目の相談
会が、区民センターで行われました。

●相談総数13件（重複あり）

件数内訳：生活福祉-4件、医療・介護-2件
法律-5件、金融-1件、住まい・暮らし-2件、年
金-2件。相談スタッフ31人でした。

●相談内容

障害年金について知りたい、生保廃止になった
場合の法テラス等支払い、成年後見人について知
りたい、国保料が高くて払えない、独居の母親の
物忘れが気になって来た、国保加入する必要があ
るが保険料滞納100万円あり、払えない

各区の国保110番に、切実な相談



北区～2日間で14人の相談

「7月から収入が減るので国保料が大変」、「年金の1割の支払い、何とかならないか」。北区社保協と守る会が中心になった、国保・介護・後期高齢者医療110番相談会が6月22日・29日と2回開催されました。

22日の相談会には、市営住宅に住む女性が「勇気を出して来た。この夏から収入が減るので、国保料の負担が大きい」と来場。所得激減減免の対象に2人がなりました。夫婦で

290万円の年金収入、国保料・介護保険料が22万円になり「天引きされているが高い。下がらないか」などと、負担軽減を求める相談には9人が来ました。29日の相談会では、支払いの分割相談が2件ありました。

守る会や社保協では、相談会に向けて団地や地域に4000枚のビラを配布。民主団体の新聞にも折り込みしてもらい、12000枚の宣伝をしました。（守る新聞7/14の北区守る会津島さんの記事を参考にしました）

白石区～生活のために働く収入で保険料が高くなる

6/29市内いっせいの相談会で白石区の会場には、65才と71才の女性が相談に。年金はあるのですが、それだけでは生活に足りないため、働いています。その分課税世帯になり、国保・介護の保険料が、高くなってしまいます。わずかな年金と、生活のための労働収入が、高い保険料となって暮らしを圧迫する。日本の高令者の構図さながらです。

71歳の女性は自分の年金が少しあるのですが、夫は無年金で介護も必要なため、働いて生活費を工面していました。確定申告をきちんとし、世帯分離なども検討して軽減を図ることになりました。

65才の女性は、住民税や国保料が少しでも安くならないか、初めは区役所へ相談したそうですが、そこで110番や守る会を紹介され、ここへ来たそうです。

白石では6/24にも地域の会館で相談会を開き、介護で悩んでいた女性が、ケアマネ資格を持つ相談員に話を聞いてもらい、アドバイスも受けて、とても気が楽になって帰られた事例もありました。



北海道の子ども医療費を
中学校卒業まで無料にして！

子ども医療費無料化を求める
北海道ネットワーク結成集会

7月22日(土) 10:00～12:00

札幌東区民センター 別館集会室C

資料代:300円

基調報告

北海道の子どもの現状を考える

～北海道子ども生活実態調査から～

大澤 真平氏

札幌学院大学人文学部准教授

「新・人間裁判」街頭宣伝

生活保護基準引き下げは、憲法違反！

7月20日(木) 12:15～13:00

大通公園西3丁目

「生活保護制度を良くする会」総会

8月26日(土) 13:15～15:30

札幌市教育文化会館301研修室

くらしのSOS
なんでも無料電話相談

7月25日(火)

10:00～17:00

0800-080-0058

フリーダイヤル・無料です

くらし、法律、医療・介護、労働、借金問題など、様々な相談に専門家が対応